

# FormPat 6

## インポート設定ガイド

2018/04/05

**Digital Assist**

Copyright(C) 2018 Digital Assist Corporation. All rights reserved.

## 目次

目次 .....	2
はじめに .....	3
データベースおよびテーブルの作成 .....	4
インポート定義ファイルの作成 .....	5
インポート定義ファイルの見出し行 .....	5
インポート定義ファイルの明細行 .....	5
インポート定義ファイルのサンプル .....	6
CSV 文字コード Shift-JIS ・ CSV 見出し行あり .....	6
CSV 文字コード UTF-8 ・ CSV 見出し行あり .....	6
CSV 文字コード Shift-JIS ・ CSV 見出し行なし .....	6
CSV 文字コード UTF-8 ・ CSV 見出し行なし .....	6
システム環境ファイル(option.config)の設定 .....	7
インポート定義ファイルのアップロード .....	8
メニュー設定へ登録 .....	9
インポート定義ファイルの文字コード UTF-8 対応 .....	10
その他 .....	11

## はじめに

本書では、FormPat 6（以下、FormPat）のインポートオプションの設定方法を説明します。

インポートオプションを利用することで、任意に設計した SQL Server のテーブルに CSV データをアップロードすることができます。

アップロードされたデータは、FormPat のデータベース参照機能によりデータ入力時に参照・登録が可能になります。

本書は、FormPat Ver.6.1.0 以降を対象としています。

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標です。

## データベースおよびテーブルの作成

SQL Server に CSV データを取り込むデータベースとテーブルを作成してください。

FormPat の運用・保守のため、FormPat のデフォルトデータベース FormPat にテーブル作成は行わないでください。

## インポート定義ファイルの作成

インポート定義ファイルは、テーブルとアップロードする CSV データの紐づけを定義するファイルとして CSV データを作成します。

インポート定義ファイルのファイル名は import\_sjis.csv 文字コードは Shift-JIS とします。

インポート定義ファイルに Shift-JIS に存在しない機種依存文字が必要なときは「インポート定義ファイルの文字コード UTF-8 対応」を参照してください。

## インポート定義ファイルの見出し行

CSV データのタイトル行を設定します。

タイトル行の文字は任意ですが以下がデフォルト値となります。

*文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行 (0:無 1:有),CSV 項目=列名*

*CSV 項目=列名* は CSV データの項目数だけ続けます。

また、末尾の空のカンマは無視されます。

## インポート定義ファイルの明細行

CSV データの 1 行に必要な項目をカンマ区切りで設定します。

また、複数の CSV データをアップロードする場合は、明細行を複数行記述します。

*文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行の有無,CSV 項目=列名*

*文字コード* は CSV データの文字コードを設定します。Shift-JIS なら sjis 、UTF-8 なら utf8 と設定します。

*表題* は FormPat でインポート実行時に CSV データを選択するプルダウンの表示名称を設定します。

*テーブル名* は CSV データを取り込む SQL Server のテーブル名を設定します。

*見出し行の有無* は CSV データの先頭行が見出し行でないときは 0 、見出し行なら 1 を設定します。

*CSV 項目=列名* は CSV データの先頭行が見出し行のときは、見出し行の項目名称と SQL Server のテーブルの列名を=でつなげて設定します。*CSV 項目=列名* は CSV データの項目数だけ続けます。

CSV データの先頭行が見出し行でないときは、カンマ区切りの項目位置（先頭が 1、次が 2...）と SQL Server のテーブルの列名を=でつなげて設定します。*CSV 項目=列名* は CSV データの項目数だけ続けます。

また、末尾の空のカンマは無視されます。

## インポート定義ファイルのサンプル

### CSV 文字コード Shift-JIS ・ CSV 見出し行あり

文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行(0:無 1:有),CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名<改行>

sjis,商品マスタ, product,1,コード=product\_code,名前=product\_name

### CSV 文字コード UTF-8 ・ CSV 見出し行あり

文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行(0:無 1:有),CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名<改行>

utf8,商品マスタ, product,1,コード=product\_code,名前=product\_name

### CSV 文字コード Shift-JIS ・ CSV 見出し行なし

文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行(0:無 1:有),CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名<改行>

sjis,商品マスタ, product,0,1=product\_code,2=product\_name

### CSV 文字コード UTF-8 ・ CSV 見出し行なし

文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行(0:無 1:有),CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名<改行>

utf8,商品マスタ, product,0,1=product\_code,2=product\_name

## システム環境ファイル(option.config)の設定

1. [メモ帳]のメニューから[ファイル]→[開く]を選択し、サーバーの FormPat フォルダ内の option.config を開きます。デフォルトは C:¥FormPat¥option.config です。
2. インポートオプションで CSV データを取り込むデータベースを設定します。  
<import>タグを修正してください。  
<import>Provider=sqloledb;Data Source=127.0.0.1;User Id=sa;Password=password;Initial Catalog=FormPat</import>  
127.0.0.1 はデータベースのホスト名または IP アドレスを設定します。FormPat と同じサーバーなら変更不要です。  
SQL Server が名前付きインスタンスの場合、ホスト名または IP アドレスに続けて ¥ とインスタンス名を設定します。(例)server=127.0.0.1¥インスタンス名  
sa および password は SQL Server のログイン名とパスワードを設定します。  
FormPat は CSV データと取り込むデータベース名を設定します。
3. [メモ帳]のメニューから[ファイル]→[上書き保存]を選択し、[メモ帳]を終了します。

## インポート定義ファイルのアップロード

1. FormPat へ管理者ユーザーでログインします。
2. 「システム設定」画面の[フォーム設定]をクリックします。
3. 「フォーム設定」画面の[追加へ]をクリックします。
4. [フォームファイル送信]ボタンをクリックして import\_sjis.csv をアップロードします。  
アップロード後は[戻る]をクリックします。



## メニュー設定へ登録

1. 引き続き FormPat の「システム設定」画面から[メニュー設定]をクリックします。
2. CSV データのアップロードを設定するメニューの「アドオン名称」に「ホーム」画面に表示するメニューの名称、および「アドオン情報」に `WebCSVImport.aspx?width=620&height=280` を入力してメニュー設定を登録します。
3. 「ホーム」画面で動作確認してください。

## インポート定義ファイルの文字コード UTF-8 対応

インポート定義ファイルに Shift-JIS に含まれない機種依存文字の入力が必要なときは、インポート定義ファイルの文字コードを UTF-8 で作成し、ファイル名を `import_utf8.csv` としてください。

定義内容や FormPat への登録手順は上記と同様です。ただし、「インポート定義ファイルのアップロード」では、ファイル名 `import_sjis.csv` がアップロードしないでください。

インポート定義ファイルの参照は、1. `import_sjis.csv` 2. `import_utf8.csv` となります。

## その他

1. CSV データと取り込むテーブルに更新日時を登録することが可能です。  
列名 `timestamp`、型 `datetime` をテーブルに含めてください。  
CSV データのアップロードの日時が自動的に登録されます。
2. CSV データの項目ごとのダブルクォーテーションの有無は自動的に判断します。
3. CSV データの取り込みは既存データを上書きします。